

学校番号	学 校 名
21	大垣北高等学校

学校教育目標	人間尊重を基調とし、智・徳・体の調和のとれたたくましく豊かな人間性を育み、高い志とグローバルな視野をもって人類・社会に貢献できる有能な人材を育成する。そのため、“誠実・友愛・努力”を本校の生活信条とし、その具現に努める。	
＜教育指導の重点＞ 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 働き方改革と教育の質の担保の両立を図ります。	<p>① SGHの成果を活用しながら、地域共創フラッグシップハイスクール事業を総合的な探究（学習）の時間を中心に実施するとともに、海外フィールドワークを持続的に実施できる仕組みづくりを行い、ふるさとに貢献できるグローバルな人材を育成する。</p> <p>② 8のつく日及びノー残業デーの午後6時退庁、勤務時間外の留守番電話切替、夏季休業期間中の閉庁日の設定、部活動方針の策定と遵守、部活動削減の検討、業務アシスタントの導入、業務のスクラップアンドビルド、年休の年5日以上取得等により、教職員の働き方改革を一層推進する。</p>	<p>① 地域の教育資源を積極的に活用し、持続可能な開発に貢献できる人材を育成する「総合的な探究の時間」の教育課程を構築する。</p> <p>② 1か月の時間外勤務が80時間を超える職員をなくすとともに、全ての該当職員が年休を5日以上取得する。</p>
2 生徒の実態に即した授業を展開し、確かな学力の伸長を図ります。特に、2021年度大学入試の改革に対応する授業を実践します。	<p>① 教室やPCルームのICT機器を整備・更新するとともに、使用環境を組織的に整え、授業における積極的な活用を促す。</p> <p>② 学校全体や各教科の目標に従って授業改善に取り組むとともに、定期考査や実力考査の在り方を工夫し、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する。</p>	<p>① 新たな委員会を設置し、ICT機器の使用環境を検討・整備し、授業における活用頻度を高める。</p> <p>② 主体的・対話的で深い学びのある授業を実践するとともに、大学入学共通テストを見据えた定期考査や実力考査を実施する。</p>
3 主体的に進路を選択決定できる能力の育成と進路志望の実現を図ります。	<p>① 大学入学共通テストや英語民間試験等の高大接続改革について、十分な情報収集・分析を行い、生徒への正確な情報提供と年間行事予定の適切な再構築を行い、生徒の進路希望の実現を図る。</p> <p>② 総合的な探究（学習）の時間や各種講演会の実施など、積極的なキャリア教育を通して、生徒の向学心や進路意識を高め、難関大学に挑戦する姿勢を養う。</p>	<p>① 高大接続改革の正確な情報を生徒に提供するとともに、指導内容改善、年間行事予定再構築、ポートフォリオ蓄積、調査書作成準備等を行う。</p> <p>② 地域人材や卒業生等を積極的に活用したキャリア教育を推進し、最難関大学20人以上、難関大学50人以上、国公立大学230人以上の合格を目指す。</p>
4 自ら思考・判断でき、心身共に健全で品格ある生徒の育成を目指します。	<p>① 生徒心得の見直しを行うとともに、効果的な情報モラル教育や人権教育等を行い、学校全体の人権感覚を高める。</p> <p>② 学校周辺の教職員の交通安全指導體制の見直しを図る一方で、大垣警察署の協力による自転車の安全運転教育を実施し、「交通事故ゼロ」運動を推進する。</p>	<p>① 合理性や人権配慮の観点から、時代に合った生徒心得に見直す。</p> <p>② 「交通事故ゼロ」「情報モラル違反ゼロ」「いじめゼロ」を目指す。</p>